



府中町立府中中学校 学校図書館

～ 1枚のポップから広がる世界～

府中中学校では、週に2～3回来校する町の学校図書館司書とともに、図書委員会が中心となり、学校図書館を運営し、様々な読書活動を行っています。

特に、国語科を中心に、全校生徒で本を紹介するポップの作成は、特徴的な活動の一つです。自分が伝えたい「感動」「おもしろさ」を、その本を読んだことがない人に伝えられるように、言葉（国語）や絵（美術）で表現し、その際に著作権（社会）に留意するなど、1枚のポップから多くのことが教科等横断的に学べる取組となっています。

また、学校図書館の本を使用し、学校司書が本選びやポップ作成の相談に乗ることにより、学校図書館の活性化と読書の推進を図っています。

作成したポップは、図書委員会主催のポップコンテスト、府中町ポップコンテスト、ポプラ社全国学校図書館POPコンテストに応募しています。

各コンテストの趣旨が異なるため、選ばれる作品の数も増え、生徒の作成したいろいろな作品にスポットがあたっています。

図書委員会主催 文化祭ポップコンテスト

図書委員が、全校生徒のポップを掲示するとともに、クラスの代表作品3枚を選び、学年ごとに展示・投票を行っています。

学年ごとに、投票数の多かったポップを1位～3位まで決め、図書だよりで紹介し、ポップと本を館内展示しています。



文化祭受賞作品（一部のみ）



府中町教育委員会主催 府中町ポップコンテスト

府中町教育委員会が主催する府中町ポップコンテストには、国語科の先生方が10作品（1年3点、2年3点、3年4点）を選び、応募しています。

賞の内容は、「教育長賞」、「府中町立図書館長賞」、「学校司書賞」、「本好き愛が伝わると賞」、「つばき賞」です。

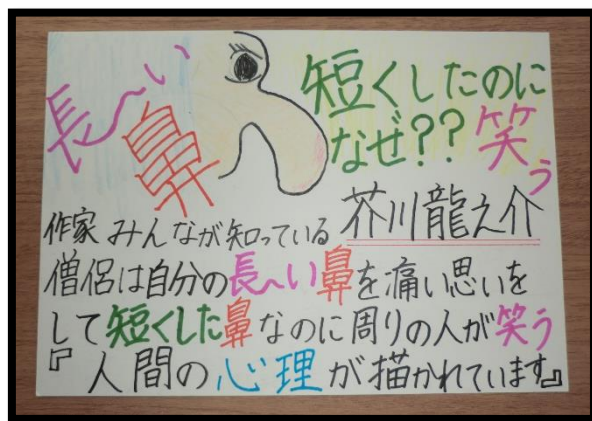
府中町ポップコンテスト受賞作品



ポプラ社 全国学校図書館POPコンテスト

4年前から応募を始め、2019年度のコンテストでは、「本の魅力が伝わるPOP賞」を1学年1名が受賞しています。

受賞作品「本の魅力が伝わるPOP賞」



ポップを利用した展示

優れた作品は、学校図書館所蔵とし、館内や館外で展示を行っています。
沢山のポップが集まってきたので、ポップをテーマごとにまとめてみたり、同じ作家や作品で並べてみたりと、展示の幅も広がっています。



館内おすすめ本コーナー

めくると、本の内容に関係ある花火の絵がでできます。



工夫されたポップ

廊下の掲示

年々優れた作品が増えており、配布された紙だけで作るのではなく、ビッグサイズのものや、立体になっているものなど、いろいろな工夫がしてあるポップも増えています。

また、ポップで紹介されている本は、借りられることが多く、掲示されているポップの分類番号を見て、本を探す姿も見られます。